

事業優先順位		2 細事業:健康運動推進事業						整理番号	09
目的	運動習慣のなかった市民を対象に、コース別の運動教室を実施することで運動習慣を身につけてもらい、生活習慣病予防のための生活習慣改善をめざす。								
目標	運動を始めるきっかけづくりとする教室を実施。参加実人数140人								
事業実施主体	委託	事業開始年	平成22年度	根拠法令	健康増進法 第17条				
事業費・財源			平成24年度	比較	コスト情報・従事職員数			平成24年度	比較
	事業費(決算額)(千円)		1,451			総コスト(千円)	7,402		
	財源内訳	一般財源	1,157			内訳	事業費	1,451	
		国府支出金	294				人件費	5,951	
		地方債	0				公債費	0	
		その他特定財源	0				一人あたり(円)	66	
			0				世帯あたり(円)	157	
		0		参考		職員数(人)	0.75		
		0				再任用職員数(人)	0.00		
今後の方向性	運動のきっかけづくりを行うための教室を継続して行う。健康ウォーキング事業の推進。								
評価	妥当性	効率性	有効性	対象者	これまで運動習慣がなく、健康づくりのために運動を始めたいと考えている40歳以上の市民 約2,000人				
	A	A	B						

事業優先順位		6 細事業:健康啓発事業						整理番号	10
目的	市民が健康への関心を持ち、その管理の正しい知識を習得すること。								
目標	介護高齢課主催のいきいき介護フェスタと同時開催し、より多くの人に効果的に健康づくりに関する啓発を実施する。参加者数1500人								
事業実施主体	委託	事業開始年	昭和63年度	根拠法令					
事業費・財源			平成24年度	比較	コスト情報・従事職員数			平成24年度	比較
	事業費(決算額)(千円)		225			総コスト(千円)	622		
	財源内訳	一般財源	225			内訳	事業費	225	
		国府支出金	0				人件費	397	
		地方債	0				公債費	0	
		その他特定財源	0				一人あたり(円)	6	
			0				世帯あたり(円)	13	
		0		参考		職員数(人)	0.05		
		0				再任用職員数(人)	0.00		
今後の方向性	今後も継続して啓発を実施する。								
評価	妥当性	効率性	有効性	対象者	乳幼児から高齢者まで、あらゆる年齢層に応じた健康に関する情報を必要とする市民				
	A	A	B						

## 細事業：健康運動推進事業

### 1. 健康運動推進事業

市民が運動を日常生活の中に習慣づけ、健康・体力の保持増進に努められるよう、教室やイベントを実施した。

#### (1) 健康運動教室

運動習慣のなかった市民を対象に、運動習慣を身につけてもらい、生活習慣病予防のための健康運動教室を実施した。参加者の体力や運動強度等に配慮するため、年齢別の教室とした。

- ・ 40歳～60歳未満の教室を2教室（1教室8回コース）
- ・ 60歳～75歳未満の教室を2教室（1教室8回コース）

#### (2) 市民健康スポーツラリー

市民健康スポーツラリーを開催し、生涯スポーツ・ニュースポーツの体験や体力測定などを実施し、市民の健康・体力づくりに努めた。なお、市民健康ウォークは当日（平成24年11月11日）荒天のため中止した。

<参加状況>

	参加者数（人）
健康運動教室	754
市民健康スポーツラリー	808

## 細事業：健康啓発事業

### 1. 健康啓発事業

市民一人ひとりが健康に関心を持ち、また実践することによって、健康で明るく住みよいまちづくりを目指した。

#### (1) 健康展

いきいき介護フェスタと同時開催し、ウォーキングマップの配付、正しい歩き方の測定、歯周疾患検査、がん検診・食育などの啓発を行った。



#### (2) 市民まつり

健康に対する意識を高めてもらえるよう、血圧測定・握力測定を行い、食育や、禁煙などの啓発を行った。

#### (3) 感染症講演会

食中毒や、感染症予防に関する講演会を行った。

<参加状況>

	参加者数（人）	開催場所	開催日
いきいき健康展	600	キックス	平成24年9月16日
市民まつり（測定者数）	419	寺が池公園	平成24年5月13日
感染症講演会	24	市役所	平成24年7月11日